

## ステップアップ講座のご案内

子どもが病気になったとき、夜中に熱が高くなると不安で「私が代わってあげたい」と思うことはありませんか？ お粥を作って、水枕をして、お薬を飲ませて・・・いっぱいしてあげたいことってありますよね。

病気の子どもにどう寄り添うか、子どもも、看病する人も、安心できる看護って何でしょう。

とても優しい気持ちになれる、講習会です。ぜひご参加ください。

日時 2010年 1月 23日(土) 10:30~12:30  
 場所 松阪市市民活動センター (松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階)  
 内容 小児看護  
 講師 岡田まり先生 (三重看護専門学校)  
 対象 まつさかファミリーサポートセンター援助会員・両方会員・依頼会員  
 参加費 無料  
 託児 500円 予約が必要です(1月15日締め切り)

援助会員さんにはスキルアップに、依頼会員さんには子育ての参考に。

## アドバイザーから

平成21年度第2回援助会員養成講座が終了しました。例年ですと2回目は1・2月に行っているのですが、いつもインフルエンザや寒さなどから受講者が少なくなってしまう為、今年度は2ヶ月ほど早く行いました。その結果、20名の方に参加いただき、1回目と合わせて約50名の新しい援助会員さんが誕生したことになります。

年々依頼内容が多様になり、条件に合う援助会員さんが見つけない中、子育てをサポートしようとたくさんの仲間が集まっていたことを大変嬉しく、また心強く感じています。地域で子育てが少しでもしやすくなるよう、この輪をもっと広げていきたいと思っております。



### ★まつさかファミリーサポートセンター★

〒515-0043 松阪市下村町1115  
 (特) 松阪子どもNPOセンター内  
 TEL・FAX 0598-60-1820  
 E-mail mfsc@mknpo.jp  
 URL http://www.mknpo.jp/mfsc/  
 (受付時間) 8:30~19:00  
 (休日) 土・日・祝日・年末年始



2010年1月(第13号)

# ファミサポ。ホットタイム

発行元 まつさかファミリーサポートセンター



## 援助会員養成講座の様子



まつさかファミリーサポートセンターは  
 (特) 松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています。



# 援助会員になるには。。。こんな講座を受けます

人は人間の文化の中で育つ必要があります、その発達には大人のかかわりが大変重要になります。そして赤ちゃんにお母さんが育てられる…まさに子育て=親育て、お互いに大切な存在なんですね。

## 子どもの心の発達



## 子どもの発育と病気

子どもの病気と救急対応として、嘔吐したときの水分の与え方や、頭を打ったときの泣き方・吐き気の有無は大変重要です。援助している子が急変することも考えられます。子どものいつもと違う様々なサイン（ぐずる・元気がない・顔色が悪いなど）に早く気づくことが大切です。

## 子どもの遊び

子どもと遊ぶ時、サポーター自身が楽しむことが大切で、声を出して笑ったり、できなくてがっかりしたりと感情を表すことで子どもも感情を出すようになります。また、子どもが自分で考えること、やってみようと思う勇気を大切にしましょう。できた時の喜びは自信につながります。



## 子どもの栄養と食生活



「孤食・個食・固食・小食・粉食・濃食」という6つの“こ食”をご存知ですか。食は人に迷惑をかけるわけではないけれど、自分に返ってきます。今日の一口が明日のあなたを作ります。

子どものまなざし・しぐさをしっかり見つめ、子どもの話に耳を傾けて気持ちを共有することが大切です。子どもが幸せであるように、親が親であることの幸せを実感できるよう、親の気持ちを理解するサポートが必要です。

## 保育の心

## .. 託児コーナー ..



お母さんがお勉強の間待ってます

## 子どもの事故と安全 幼児救急法

何気ない日常の中でも危険はいっぱい。机のカド・コンセントなど小さい子どもの視点でもう一度見てみましょう。

- ・ キズの基本は“洗い流し”です。
- ・ のどに物が詰まった時の対処法として、胸部突き上げ法と背部叩打法があります。
- ・ 意識がない時は、  
まず”気道確保”です。



## ファミサポの会員数の変化

おかげさまで、「まつさかファミリーサポートセンター」は7年目を迎えました。

年度	H15年度 11~3月	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度 4~12月
依頼会員	17	102	152	205	243	251	245
援助会員	31	111	159	179	193	195	215
両方会員	17	40	52	58	61	68	72
合計	65	253	363	442	497	514	532



7年といえば、生まれたばかりの赤ちゃんが小学校に行きはじめ、それなりに一人前に、外に向けて動き出す、そんな年齢です。  
ファミリーサポートセンターも、これまでの活動で見えてきたものを土台に、子育て支援の次のステップに進んでいきたいと思えます。これからもファミリーサポートセンターをよろしくをお願いします。

## 援助活動やってま〜す！

### H15年度に援助会員になられた杉本さんより

発足当初から関わり丸6年。1才から継続してきてきた子どもが1年生になりました。この子は長時間預かることが多く、リズムのある生活を心がけました。おむつをはずす時は、絵本の上に“おしっこ”ということもありました。夏は、お母さんの了解を得て市営プールで遊んだ事もありました。また、食べ盛りの子どもの食事バランスを考えて作り、美味しいと連発してくれる子どもとテーブルを囲むのも楽しい経験でした。これからも個性を大切に地域の子育て支援を続けたいと思います。

### H21年度に援助会員になられた稲葉さんより

現在、両方会員としてお世話になっています。当初は依頼会員としてお世話になっていました。初めのうちは預ける不安もありましたが、娘にとっても私にとっても、安心していただける場所が増えたのが良かったです。その経験から養成講座を受け、現在は援助にも携わっています。援助の時は、預けられるお子さんもお母さんも、特に最初の方は不安が大きいと思うので、援助にあたり心配なことはキチンと聞き、お互いの不安が軽減されるように心がけています。今では娘や夫の協力もあり、家族ぐるみでとってもいい経験をさせてもらっています。